

広島県誕生
150
周年記念

広島県立文書館

資料からみた 広島県庁舎の歴史

広島県立文書館収蔵文書展

会期

令和三年

三月二十九日(月)・六月十二日(土)

※土曜日の午後・日曜・祝日休み。入場無料

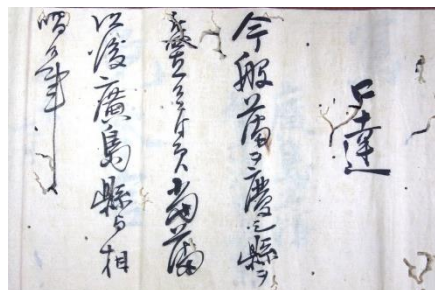
関連行事

文書館講演会 六月五日(土) 午前十時から



資料からみた 広島県庁舎の 歴史

令和3年(2021)は、明治4年(1871)の廃藩置県で広島県が誕生してから150周年の節目に当たります。広島県立文書館では、これを記念して収蔵文書展「資料からみた広島県庁舎の歴史」を開催します。本展では、原爆などによる2度の焼失と8回の移転を経て、現在の場所(広島市中区基町)に県庁が建てられるまでの変遷をたどります。改修工事が進められている県庁舎への親しみや、県政に対する関心を深めていただければ幸いです。



廃藩置県による広島県の成立
明治4年(1871) 重清家文書



戦前の広島県庁舎 大正15年
(1926)頃 『広島県写真帖』



竣工時の広島県庁舎 昭和31年(1956)
坊敏之資料

文書館講演会 「資料からみた広島県庁舎の歴史」

開催日時：令和3年6月5日(土) 10:00~12:00

講師：荒木 清二(広島県立文書館総括研究員)

開催場所：広島県立文書館研修・会議室

申込方法：電話・はがき・FAX・Eメール等で5月26日(水)までにお申込みください。

募集定員：30名程度

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては予定を変更する場合があります。

詳細は当館のホームページでお知らせします。

広島県立文書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 / TEL 082-245-8444

E-mail monjokan@pref.hiroshima.lg.jp

URL <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

開館時間 9:00~17:00(土曜日は12:00まで) ※日曜日・祝日・休日は休館

